

# 平成24年度 長野県の移住・交流施策

長野県観光部観光企画課

## I. 長野県の取り組み

1. 首都圏へのワンストップ拠点の設置	(新) 東京観光情報センターへ移住専門相談員を配置し、毎日の相談対応や情報発信 U・ターン相談とのワンストップ化
2. 長野県の魅力発信	(新) NPO法人ふるさと回帰支援センターへ長野県ブースを設置するとともに、セミナーやHPで情報発信 (拡) 田舎暮らし「楽園信州」推進協議会による広報宣伝活動、楽園信州HPのリニューアル
3. 移住者受入体制の整備	県観光部へ田舎暮らし案内人を引き続き設置 (新) 市町村への円滑な引き継ぎマニュアル作成、市町村職員スキルアップ研修開催、移住相談ハンドブック作成
4. 移住の事前・事後フォロー体制整備	(新) 県内の移住者を「移住アドバイザー」として委嘱し、移住者・希望者への相談を実施 (新) 移住のサポートや地域づくりなどに取り組んでいる民間団体とネットワーク構築し地域の情報を発信

## II. 平成24年度の長野県の移住・交流施策の予算について

平成24年度予算案 13,371千円 (平成23年度予算額 4,255千円)

### 1. 首都圏へのワンストップ拠点の設置

(千円)

東京観光情報センターへ 移住専門相談員を設置	・移住専門相談員による相談、情報発信 ・U・ターン相談とのワンストップ化	3,801
---------------------------	---	-------

### 2. 長野県の魅力発信

ふるさと回帰支援Cとの連携	・NPO法人ふるさと回帰支援センターへブース設置	3,000
セミナー、相談会開催	・市町村と共同で移住セミナーを開催(協) ・各種相談会や農業人フェア等を活用した相談(協)	1,000
ガイドブック、パンフレットの活用	・県の情報を網羅した「移住ガイドブック」の作成(協) ・楽園信州パンフレットによる情報発信(協)	
ホームページの活用	・楽園信州HPをリニューアルし内容を充実(協)	1,458
メールマガジンの活用	・「週刊信州」による情報発信(毎週木曜日)(企画部) ・日本のふるさと『信州通信』による情報発信(東京事務所)	
移住希望者登録制度	・移住希望者を登録する「楽園信州倶楽部」創設(協)	0予算
既存のバプリシティの活用	・移住を取り扱う雑誌などを活用した情報発信	0予算

### 3. 移住者受入体制の整備

(千円)

田舎暮らし案内人設置	・観光部への田舎暮らし案内人の設置	3,262
市町村の受入体制整備を支援		
市町村へ引継ぎを行う際の マニュアルづくり	・「市町村への円滑な引き継ぎマニュアル」の作成 移住相談が円滑に進むように、取組方針、支援策、 受入体制、生活環境などを1市町村1枚で作成	
市町村職員のスキルアップ 支援	・移住・交流担当職員設置を働きかけ(協) ・市町村職員対象の「スキルアップ研修会」の開催(協) 移住者を引きつける地域のPR方法を専門家から学習 田舎暮らし案内人や先進市町村が培ったノウハウを伝授 ・「移住相談業務ハンドブック」作成と情報共有(協) 田舎暮らしを失敗させないポイント、不動産の情報提供 に係る留意点、相談トラブルの回避方法など	300
「楽園信州」推進協議会 加入市町村へのサポート	・楽園信州ホームページへの情報掲載と情報発信(協) ・楽園信州パンフレットへの情報掲載(協) ・移住セミナーの共同開催(協) ・移住・交流推進機構(JOIN)への参加(協) 県として一括して加入し、各市町村がHPに情報掲載	

### 4. 移住者ネットワークの構築と移住者・希望者のサポート

移住の事前・事後のフォロー 体制の整備	・移住アドバイザーの設置と移住者への相談対応 受入体制が不十分な市町村における相談対応支援 ・民間団体とのネットワーク構築による地域情報の発信	0予算
------------------------	---	-----

# 田舎暮らし「楽園信州」推進協議会の活動強化について

長野県観光部観光企画課

【趣旨】長野県への移住者や交流人口を拡大するため、会長を知事とし、事業についても大幅な拡充を図ることで、現行の協議会の推進体制を拡大改組し、市町村、民間団体、県による強力な連携・推進体制を構築する。

